

## 瀬戸内タウンミーティング（裳掛地区）

平成 21 年 10 月 19 日（月）19 時～21 時  
裳掛コミュニティセンター2 階 大会議室

参加者：男性 12 人、女性 3 人、計 15 人

### 市民から出た意見と市長の反応

- ・ 地域の高齢者を地域で支える小規模多機能老人ホームを国県市で推進しているはずだが、裳掛地区では瀬溝に 1 つあるだけで他は立ち上がってこない。何が問題なのか、裳掛地区の特性を考えてもらいたい。

(市長) 介護保険事業計画ではニーズを把握して施設整備を進めている。

- ・ 高齢者の見守りを地域住民全員が把握できるように地域マップを作っている。裳掛地区をひとつの老人ホーム、それぞれの家がホーム内の居室という捉え方も必要ではないか。

「在宅で介護できるまち」

「高齢者を地域で支えあうまち」

「住宅が老人ホームの居室にできるまち」

- ・ 裳掛地区には小さな店はあるが、大きな店や病院は無い。車に乗れない高齢者が今後増えていく中で、病院や整体に行くのにタクシーを使うと往復 6,000 円かかり、診察料が 200 円ということがある。福祉有償運送を行う団体が介護タクシーを含め市内に 4 つ（うち裳掛地区に 2 つ）あるが、ほぼボランティアみたいな料金設定しかしていない。高齢者の出かけたくでも経済的に出られない状態をどうにかしてもらいたい。
- ・ 和気町や玉野市のようなコミュニティバスを出してもらいたい。東備バスが通っているが 2 時間に 1 本、休日なら 1 日 4 本程度しかない。1 時間に 1 本くらい、1 回 200 円くらいで周回できるようなバスを走らせることで高齢者も経済的に安心して出かけられると思う。
- ・ 市内を巡るバスである以上、いい病院があればこそバスが生きると思う。市民病院に安心してかけられるようになればいい。今なら岡山市内の病院に行く。
- ・ 愛生園や光明園の医療施設を使うことはできないだろうか。長島に介護施設と総合病院がまとめてできれば利用しやすい。

(市長) コミュニティバスについては運営主体も含め課題が多い。長島の施設については他の地区で身寄りのない人のための老人ホームにしたら、という意見があった。議会の方々も含めて検討をしているので、意見に盛り込みた

い。介護施設も併設すれば働き口としても大きなものになるだろう。

### 「交通費を気にせずに出かけられるまち」

#### 「いい病院のあるまち」

- ・ 農業について。高齢化が進み、畑かんの利用者が減っていることから運営が厳しくなってきた。使う人が増えないと運営が厳しい。組合だけでは運営が厳しいので市にも協力してほしい。

(市長) 農業を守ることと畑かんの使用者を増やすという 2 面で考える問題だと思う。

- 新規営農は難しいし、後継者もない。耕作放棄地も増えており、他から農業者を受け入れることを考えなくてはいけないと思う。補助金や住居の無償貸与などをして、農業者を募集してはどうか。

(市長) 裳掛だけでなく瀬戸内市全域での問題。やり方を考えていく。

### 「農業者を受け入れるまち」

#### 「地域で農業を守るまち」

- ・ 若者が永住できるように大きな会社の誘致をしてほしい。働き口が無ければ出て行くしかない。

(市長) 豆田の工業団地がまだ売れ残っている区画がある。ここを売り切ってしまうと他の地区への誘致を考えられない状況にある。どこの市町村も企業誘致に力を入れており、誘致競争に勝たなくてはいけない。

市内に働き口があったら、裳掛から通うと思うか？

- 愛生園、光明園に勤める人が尾張から通っている現状がある。学校や病院が無いと社会的機能を維持できなくなり、地域に若い人がいなくなってしまう。中学校がなくなったのが惜しい。診療所と小学校はなんとか残してほしい。裳掛小学校が無くなったなら裳掛地区がなくなると言っている。

- ある程度人数がいないと学校教育も難しい。

### 「若者の働き場のあるまち」

- ・ 学校はコミュニティ活動の拠点であり、学校がなくなるとコミュニティが希薄化すると思う。
- ・ 朝日塾小学校のような学校の誘致や、邑久小学校を裳掛地区に建て替えて、尾張からスクールバスを走らせてはどうか。「裳掛は学校」「〇〇地区は観光」といった特色を作っていくことはできないだろうか。

(市長) 学校の特色を出すというのはいいと思う。

### 「学校を守るまち」

## 「地域の特色のあるまち」

- ・ 邑久高校を変えてほしい。進学校になれば。
- ・ 構想を具体化するのは大変だと思うが、実現できるようがんばってほしい。
- ・ 小学校が無くなるという話を聞いて、引っ越していった若い人がいる。裳掛小学校は校長先生や PTA 会長さんがすばらしい人で、地域も支えているいい学校である。裳掛小学校を残して「終の住み家となるまち」にしてほしい。

## 「終の住み家になるまち」

(小野田市議) みんなの意見として交通、医療、農漁業、職場など負の面が出たように思う。最後に学校の話が出たが、子どもたちの教育の場であり、また災害に対する避難場所としての性格もある。この点も考えてほしい。

(市長) 今日いただいた意見や問題提起はどれもこれも難しいが、どうにかしなくてはいけない。手をつけられるところから手をつけていきたい。市と市民がお互いに知恵を出し合い、力を出し合うことが必要と思っている。